

## 2005年の年頭にあたって

病院長 宮下 正俊

### 1 はじめに

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年は、自然がその猛威を誇示した年でした。夏には歴史的な連続猛暑、その結果、今年の杉花粉症の増加が予想されています。早めの予防対策が必要です。秋には、台風の連続来襲、特に 22、23 号は茅ヶ崎市内の各所にも冠水被害を引き起こしました。市立病院の周辺でも通行不能な状況が生じ、特に救急車の出入りを確保するため、近く千ノ川沿いに緊急搬入路設置の工事が行われます。

10月23日には中越大地震が発生し、多数の犠牲者が出ました。雪の中、仮設住宅などで正月を迎えられた被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

さらに年末12月26日発生したスマトラ沖大地震は、インド洋沿岸各地に未曾有の津波被害をもたらしました。国連によると死者は15万人を超えていると言われています。

そして今年はその阪神・淡路大震災から10年の年です。改めて災害時対策を考える年となります。茅ヶ崎市立病院は平成10年3月に県から災害医療拠点病院の指定を受け、災害時に対応できるよう、県と連絡を保ち、訓練を含め整備を進めてきておりますが、さらに充実が求められます。

### 2 混合診療の議論をめぐって

医療の面においては、国民皆保険制度の財政基盤の危機に伴い、混合診療の導入について激しく意見が対立しま



した。市場原理を医療に導入すべきという規制改革・民間開放推進会議の意見に対して、社会保障制度の中で医療を支えていくべきだという考え方が、土俵際ぎりぎりでも持ち堪えた一年といえるのではないのでしょうか。

現代の日本が競争社会であることは、みな認めるところですが、医療などは、その社会基盤を支える社会安定のための仕組みであり、医療自体は市場競争でその質が保証されるという楽天的な考え方には馴染まないということが確認されないといけません。実際アメリカでその考え方が破綻をきたしていることは周知の事実です。年頭にあたり、改めてこの社会安定装置である医療制度を自由競争に任せてよいものか、市民のみなさまが考えて頂きたいと思います。

高齢化社会が進む中で、医療の需要の増加により、医療費や介護費用がかさみ財政を圧迫しています。市の平成17年度国民健康保険予算についても、このまま医療費等が増え続けると、大幅な赤字が見込まれます。国、県、市及び受益者である国民それぞれが、相

応の負担をする必要があるのだということを確認する必要があると思われる。

それだけに医療費を増やさないためにも、疾病予防が大きな意味を持っています。いわゆる生活習慣病といわれる病気をいかに予防するかが、市の予算にも直接影響するということです。市立病院としてもそのような状況を充分理解した上で、市民の健康を守るために良質な医療の提供に努めるだけでなく、疾病予防にも協力していかねばならないと考えています。

### 3 市立病院の昨年の動き

市立病院の昨年1年間について振り返ってみますと、4月には新病院建設最後の仕上げとして残っていた5西病棟をオープンしました。これで予定されていた一般病床401床の病院として完成し、建設事業は一段落となりました。今後はいかに効果的、効率的な運営を行っていくかが問われるところと見られます。

昨年、市立病院として基本理念、基本方針、患者さまの権利などについても改めて明らかにしました。7月には平成16年から20年にわたる中期の病院経営計画を策定し、発表しました。医療環境の変化や市民の医療ニーズに対応した効率的運営を行っていくと見られます(詳細は市立病院のホームページに掲載していますのでご覧ください。)

また、昨年4月には、新制度である医師臨床研修病院の指定を受けて、第一期研修医3人を受け入れ、診療を開始しました。指導医のもとで、研修プログラムに従って診療に従事し、研修しています。次世代の医療の担い手として、プライマリケア(初期医療)などを重点的に研修していきます。

また、救急救命士の病院研修も開始

しました。救急処置に必要な技術の習得、習熟だけでなく、病院へ搬送した後の患者さんの診療にも関わることで得られた経験は、今後の救急現場で必ず活かされ、救急処置のレベルアップに直接つながるということで、患者さんに御理解を頂いております。

### 4 今年も

上で触れた事柄以外に、今年も様々な課題が控えております。この不安定な時代において、時代の変化に対応しつつ、安定して良質な医療を提供できるよう「成長する病院」づくりをさらに進めていきたいと思っております。どうぞ本年も宜しく御理解、御支援のほどお願い申し上げます。

平成17年正月

## 茅ヶ崎市立病院の基本理念

### 「健やか・共創」

私たちは、市民の健康を守るため、いつでも・だれにでも、良質な医療を提供します。

私たちは、患者さんや地域の医療機関とともに、効果的かつ効率的な医療を共創し社会の利益に貢献します。